

ここでは、20世紀イタリアを代表する彫刻家マリノ・マリーニ（1901-1980）の彫刻と版画作品を中心に紹介します。

馬と騎手をモティーフとした作品で広く知られるマリーニは、はじめフィレンツェの美術学校で絵画や版画を学びます。その後彫刻へと活動の中心を移しますが、生涯にわたり400点近くの版画作品を残しました。後にイタリア版画協会の名誉会員にもなっており、版画はマリーニにとって重要な表現手段であったことがわかります。

マリーニは、彫刻を作る前にまず絵画的探究を試みると語っており、「馬と騎手」「曲芸師」などの主要なテーマが、彫刻のみならず版画などの平面作品においても展開されています。主題の追求の過程で、マリーニがどのように対象を見すえ、形態や動きを研究し、イメージを立体や平面に定着させたかをご覧ください。

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
1	マリノ・マリーニ	1901～1980	自刻像	1942	35.0×16.3×21.6	彫刻
2	マリノ・マリーニ	1901～1980	会合	1961	44.6×31.4	エッチング、ドライポイント
3	マリノ・マリーニ	1901～1980	三人の踊り娘	1968	48.1×34.8	エッチング
4	マリノ・マリーニ	1901～1980	曲芸	1966	45.6×35.0	エッチング
5	マリノ・マリーニ	1901～1980	軽業師の遊戯	1969	39.7×31.8	エッチング
6	マリノ・マリーニ	1901～1980	劇場のモチーフ	1960	43.6×36.1	エッチング
7	マリノ・マリーニ	1901～1980	舞台のモチーフ	1960	46.0×35.5	エッチング、ドライポイント
8	マリノ・マリーニ	1901～1980	道化師の道化	1970	34.2×39.7	エッチング
9	マリノ・マリーニ	1901～1980	騎手	不明	68.5×48.0	素描
10	マリノ・マリーニ	1901～1980	コンポジション	1955	57.0×48.0×30.6	彫刻
11	マリノ・マリーニ	1901～1980	馬と騎手	1946	27.1×36.2	素描
12	マリノ・マリーニ	1901～1980	格闘	1969	41.5×31.7	ドライポイント
13	マリノ・マリーニ	1901～1980	勇士	1971	41.8×31.8	エッチング
14	マリノ・マリーニ	1901～1980	奇跡	1969	42.8×32.9	ドライポイント
15	マリノ・マリーニ	1901～1980	奇跡の理想	1970	45.6×31.6	エッチング
16	マリノ・マリーニ	1901～1980	空想	1970	40.9×32.0	エッチング
17	マリノ・マリーニ	1901～1980	分裂	1971	32.0×41.8	エッチング
18	マリノ・マリーニ	1901～1980	分解	1967	40.4×31.7	ドライポイント